

令和7年度 学校要覧

重点教育目標

知的障害教育の専門性に基づく、
児童生徒一人一人への適切な指導や支援の充実



北海道余市養護学校しりべし学園分校

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内 564 番地
電話・FAX兼用 0136-72-3903

E-mail : yoichiyougoshiribeshi-z0@hokkaido-c.ed.jp

H P : <http://www.yoichiyougoshiribeshi.hokkaido-c.ed.jp>

北海道余市養護学校

〒046-0023 北海道余市郡余市町梅川町 377-3

電話 (代) 0135-23-7831・7877

FAX 0135-23-6199

E-mail : yoichiyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

H P : <http://www.yoichiyougo.hokkaido-c.ed.jp>

北海道余市養護学校

しりべし学園分校校歌

作詞・作曲 分校職員一同

一、青い空と 緑の木

どいまでも つづいてるよ

きれいな空気を大きくすつて

走る うたう たくましく

しりべしの子 元気がいっぱい

二、風の音と 鳥の声

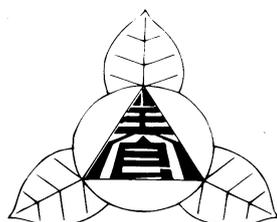
いしまでも ひびいてるよ

自然も友だち 手をとりあつて

遊ぶ つくる ゆめひろげ

しりべしの子 笑顔がいっぱい

校 章



校章のいわれ

子どもたちの豊かな自己実現を願い、外側の三枚の葉は黒松内町のシンボルツリー“ブナ”の葉を配し、それぞれの葉に本校の教育目標に示す三つの子ども像を求め、併せてその成長を見守る『学校・教師』、『学園・保護者』、『地域・住民』の三者の願いを表現している。また、その内側の円は、子どもたちを包む人々の穏和な「愛の輪」を表現し、更に内側の三角にかたどられた“養”の文字は校舎の前面に見える東山と本校の特徴である西欧風の三角屋根を表現し、これに豊かな自然と温かい人々の心に支えられ、大地をしっかりと踏みしめ、将来の社会参加・自立に向かってたくましく育つ分校の子どもたちの姿を象徴したものである。

沿革

○北海道星置養護学校しりべし学園分校

- 昭和54年 4月 1日 北海道星置養護学校しりべし学園分校設置認可 精神薄弱児施設しりべし学園の一部を借り受け開校小学部3学級、中学部2学級、計5学級認可
初代校長 美濃又 重 道 発令 教職員14名発令
- 昭和54年 4月12日 第1回入学式
- 昭和54年 5月25日 分校開校式挙行
- 昭和55年 3月22日 小学部・中学部第1回卒業式(小学部6名、中学部1名卒業)
- 昭和56年 3月24日 文集『雪の子』第1号発刊(以後継続)
- 昭和57年 3月15日 国際障害者年記念誌発刊
- 昭和57年12月15日 教育実践交流会開催(以後継続)
- 昭和60年 3月31日 「教育課程」発行
- 昭和61年 7月26日 新校舎落成式挙行
- 昭和62年 9月11日 全道養護学校体育大会参加(以後 継続)
- 昭和63年11月13日 開校10周年記念式典

○北海道余市養護学校しりべし学園分校

- 平成 3年 4月 1日 北海道教育委員会規則第10号12条により、北海道余市養護学校しりべし学園分校と名称を変更する
初代校長 市 澤 豊発令
- 平成 3年 4月 8日 小学部3学級、中学部2学級、計5学級認可 職員数16名
北海道余市養護学校しりべし学園分校第1回入学式(新入生小学部1名、中学部1名)
- 平成 4年 2月26日 後志管内教育研究実践論文表彰(共同研究)受賞
- 平成 4年 3月24日 第1回卒業式(小学部2名、中学部1名卒業)
- 平成 6年 7月12日 校舎新築工事着工
- 平成 6年11月 1日 分校校章制定
- 平成 6年11月28日 実践交流会開催
- 平成 7年 3月16日 校舎新築工事完成
- 平成 7年 6月20日 校舎新築第2期工事(外構、体育館、教員住宅「1棟2戸」、プール)着工
- 平成 7年11月30日 校舎新築第2期工事(体育館、教員住宅)完成
- 平成 7年12月 3日 校舎新築落成記念式典挙行分校校歌制定
- 平成 8月 2月 8日 校舎新築第2期工事(外構、プール)完成
- 平成10年 4月 1日 通知表「二期制」実施
- 平成10年12月18日 「開校20周年記念誌」発刊
- 平成12年 4月 1日 高等部開設
- 平成12年 4月 1日 北海道立特殊教育センター事業「盲学校聾学校及び養護学校と特殊学級との連携に関する研究協力校指定
- 平成12年11月23日 全道花いっぱいコンクールで奨励賞受賞
- 平成15年12月17日 北海道公立学校教育課程実践研究成果報告集に全文掲載
- 平成20年12月12日 「開校30周年記念誌」発刊
- 平成21年 7月28日 平成21年度第31回北海道特別支援教育研究協議会道央地区大会開催
- 平成24年 3月11日 小学部第20回、中学部第21回、高等部第10回卒業証書授与式
(卒業生 小学部3名、中学部3名、高等部6名)
- 平成25年 4月10日 平成25年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】
(入学生 中学部3名、高等部4名)
- 平成25年11月 1日 平成25年度日本教育公務員弘済会教育研究論文学校研究の部 準特選受賞
- 平成26年 3月 8日 小学部第21回、中学部第22回、高等部第11回卒業証書授与式
(卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部2名)
- 平成26年 4月 8日 平成26年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】
(入学生 中学部1名、高等部4名)
- 平成27年 3月 7日 中学部第23回、高等部第12回卒業証書授与式
(卒業生 中学部6名、高等部4名)
- 平成27年 4月 8日 平成27年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】
(入学生 中学部2名、高等部6名)

平成28年 3月12日 小学部第23回、中学部第25回、高等部第14回卒業証書授与式
(卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部5名)

平成28年 4月 7日 平成28年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】
(入学生 中学部1名、高等部3名)

平成28年11月 1日 平成28年度日本教育公務員弘済会教育研究論文学校研究の部
準特選受賞

平成29年 3月11日 小学部第24回、中学部第26回、高等部第15回卒業証書授与式
(卒業生 小学部1名、中学部3名、高等部4名)

平成29年 4月 7日 平成29年度入学式【入学生に後援会より「コサージュ」贈呈】
(入学生 小学部1名、中学部1名、高等部3名)

平成30年 3月10日 小学部第25回、中学部第27回、高等部第16回卒業証書授与式
(卒業生 小学部1名、中学部4名、高等部6名)

平成30年 4月 6日 平成30年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 小学部1名、中学部1名、高等部8名)

平成30年12月14日 「開校40周年記念誌」発刊

平成31年 3月 9日 小学部第26回、中学部第28回、高等部第17回卒業証書授与式
(卒業生 小学部2名、中学部2名、高等部4名)

平成31年 4月 5日 平成31年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 中学部3名、高等部1名)

令和 2年 3月14日 中学部第29回、高等部第18回卒業証書授与式
(卒業生 中学部2名、高等部3名) *新型コロナウイルスの影響により高等部のみ举行

令和 2年 4月 7日 令和2年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 高等部4名)

令和 3年 3月13日 小学部第27回、中学部第30回、高等部第19回卒業証書授与式
(卒業生 小学部3名、中学部3名、高等部8名)

令和 3年 4月 7日 令和3年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 中学部3名、高等部3名)

令和 4年 3月12日 中学部第31回卒業証書授与式
(卒業生 中学部3名)

令和 4年 4月 7日 令和4年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 高等部2名)

令和 5年 3月11日 小学部第28回、中学部第32回、高等部第20回卒業証書授与式
(卒業生 高等部4名、中学部1名 小学部2名)

令和 5年 4月 7日 令和5年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 小学部2名、中学部2名、高等部2名)

令和 6年 3月 9日 小学部第29回、中学部第33回、高等部第21回卒業証書授与式
(卒業生 高等部4名、中学部3名 小学部1名)

令和 6年 4月 8日 令和6年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 中学部2名、高等部2名)

令和 7年 3月 8日 小学部第30回、中学部第34回、高等部第22回卒業証書授与式
(卒業生 高等部2名、中学部1名 小学部3名)

令和 7年 4月 8日 令和7年度入学式【黒松内町商工会女性会より記念品の贈呈】
(入学生 中学部3名、高等部1名)

歴 代 校 長

北海道星置養護学校しりべし学園分校

初代	美濃又重道 (S54.4.1~S57.3.31退職)	4代	武石詔吾 (H11.4.1~H14.3.31)
2代	石川敏郎 (S57.4.1~S61.3.31退職)	5代	高橋裕 (H14.4.1~H17.3.31)
3代	花輪稔 (S61.4.1~S63.3.31退職)	6代	武田孝 (H17.4.1~H20.3.31退職)
4代	岡田信一 (S63.4.1~H3.3.31退職)	7代	山本浩司 (H20.4.1~H23.3.31)
		8代	磯貝隆之 (H23.4.1~H26.3.31)
		9代	高橋由紀子 (H26.4.1~H29.3.31退職)

北海道余市養護学校しりべし学園分校

初代	市澤豊 (H3.4.1~H6.3.31)	10代	久富正規 (H29.4.1~R2.3.31)
2代	佐藤貞年 (H6.4.1~H8.3.31退職)	11代	辻山しのぶ (R2.4.1~R5.3.31退職)
3代	松本忠孝 (H8.4.1~H11.3.31退職)	12代	柏木拓也 (R5.4.1~R6.3.31)
		13代	宮岸尚平 (R6.4.1~)



ICTを活用した取り組みを積極的に進めます



校務のDX化を図り積極的に働き方改革を進めます



重点教育目標

知的障害教育の専門性に基づく、児童生徒一人一人への適切な指導や支援の充実



子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校を目指します



分校と本校が連携し専門性の向上に努めます

令和7年度
北海道余市養護学校
しりべし学園分校

学校教育目標

生き生きと学び地域社会で豊かに生活する児童生徒を育てる

グラウンドデザイン

子どもたちも教職員も
毎日がワクワクするしりべし学園分校

子どもたち教職員もみんながHAPPY!
働き方改革本気です!
~Good-Condition High-Performance~

学級編制と在籍児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

	学部	小学部							中学部				高等部				合計
	学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
児童生徒数	男子			1	1			2	1	1	3	5	1	2	2	5	12
	女子			1				1	2	1	1	4		1		1	6
	小計			2	1			3	3	2	4	9	1	3	2	6	18
普通学級	児童生徒数			2	1			3	2	2	4	8	1	3	2	6	17
	学級数	1							1	1	1	2	1	1	1	3	6
重複学級	児童生徒数								1			1					1
	学級数								1			1					1

児童生徒の状況

(1)出身地の状況

出身地	人数	出身地	人数
黒松内町	3	今金町	1
寿都町	1	鹿部町	1
俱知安町	1	苫小牧市	1
泊村	1	札幌市	5
島牧村	1	南富良野町	1
釧路市	1	音更町	1

(2)中学部卒業後の進路状況

昭和54年度～令和6年度	
進路先	人数
施設入所	53
施設通所	1
単置高等養護	12
併設高等部	61
自宅	1
合計	128

(3)高等部卒業後の進路状況

平成14年度～令和6年度	
進路先	人数
施設入所	70
GH利用・施設通所	14
自宅(施設通所)	5
自宅(家事手伝い)	4
合計	93

(4)児童生徒数の推移

年	小学部	中学校	高等部	年	小学部	中学校	高等部	年	小学部	中学校	高等部
S54	19	7	/	H7	14	8	/	H23	5	9	11
S55	13	10	/	H8	11	11	/	H24	3	10	9
S56	14	9	/	H9	10	11	/	H25	2	11	10
S57	11	7	/	H10	10	10	/	H26	1	11	12
S58	7	7	/	H11	12	6	/	H27	1	6	15
S59	3	11	/	H12	9	8	7	H28	1	4	13
S60	6	10	/	H13	9	8	11	H29	3	6	13
S61	8	7	/	H14	9	11	16	H30	5	4	15
S62	12	4	/	H15	10	10	12	H31	3	7	12
S63	15	6	/	H16	9	12	11	R2	7	6	12
H1	17	6	/	H17	8	8	11	R3	3	6	8
H2	16	7	/	H18	7	7	13	R4	6	4	10
H3	15	6	/	H19	6	4	17	R5	5	5	8
H4	16	7	/	H20	5	5	13	R6	5	7	6
H5	16	6	/	H21	7	7	12	R7	3	9	6
H6	15	8	/	H22	5	8	10				

職員構成

(令和7年5月1日現在)

常勤職員								非常勤職員					合計	
校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	事務職員	小計	特別支援学校 専門支援員	主事	学校医	学校歯科医	学校薬剤師		小計
(1)	(1)	1	(1)	23	1	2	27(3)	1	1	4	1	1	8	35(3)

()内は本校勤務

教育課程

※()は重複学級

学 部	小学部						中学部			高等部			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
各教科等を合わせた指導	遊びの指導	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	日常生活の指導	/	/	280	280	/	/	210 (210)	210	210	175	175	175
	生活単元学習	/	/	175	175	/	/	140 (140)	140	140	140	140	140
	作業学習	/	/	/	/	/	/	140 (140)	140	140	210	210	210
	体力づくり	/	/	/	/	/	/	70 (0)	70	70	105	105	105
	小計	/	/	455	455	/	/	560 (490)	560	560	630	630	630
教科別領域別の指導	国 語	/	/	105	105	/	/	105 (105)	105	105	105	105	105
	算数／数学	/	/	70	70	/	/	70 (70)	70	70	70	70	70
	音 楽	/	/	70	70	/	/	70 (70)	70	70	35	35	35
	図画工作／美術	/	/	70	70	/	/	70 (70)	70	70	35	35	35
	体育／保健体育	/	/	70	70	/	/	70 (70)	70	70	70	70	70
	小計	/	/	385	385	/	/	385 (385)	385	385	315	315	315
	特別の教科 道徳	学校の教育活動全体を通じて行う						学校の教育活動全体を通じて行う			学校の教育活動全体を通じて行う		
	特別活動	/	/	35	35	/	/	35 (35)	35	35	35	35	35
	自立活動	/	/	140	140	/	/	35 (105)	35	35	35	35	35
	小計	/	/	175	175	/	/	70 (140)	70	70	70	70	70
総合的な学習(探究)の時間	/	/	/	/	/	/	70 (70)	70	70	35	35	35	
合計	/	/	1015	1015	/	/	1085 (1085)	1085	1085	1050	1050	1050	

※1単位時間：小学部45分 中学部・高等部50分

各学部の学習

地域の人々とのふれあいや学習の発表などを通して、経験を広げ、社会性を培います

小学部



交流及び共同学習「じゃがいも掘り」

中学部



生活単元学習「木育学習」

高等部



現場実習「タイル目地の除草」

小学部

重点目標

児童の思いや課題に向かおうとする意欲を大切に、専門性に基づき、将来の自立と社会参加に向けた視点を踏まえた授業づくり、適切な指導支援を行う。



交流学習

黒松内町の施設マネージャーと1年に3回程度の交流を行っています。学校に来ていただき、読み聞かせなどをしていただいています。児童も施設を利用し、挨拶やマナーなどを学んでいます。

音楽

音楽遊びの活動を通して、身体表現、器楽、歌唱、鑑賞などの学習に取り組んでいます。ICTを活用し、児童が自らタブレットを操作して学習の振り返りなどを行っています。

小学部第3・4学年（普通学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登校				
9:00 9:10	10	1校時	日常生活の指導				
9:10 9:30	20	2校時	自立活動（体力づくり）				
9:30 9:50	20	3校時	日常生活の指導				
9:50 10:35	45	4校時	国語・算数				
	5		休憩				
10:40 11:25	45	5校時	図画工作	体育	図画工作	生活単元学習	体育
	5		休憩				
11:30 12:15	45	6校時	自立活動	音楽	自立活動	生活単元学習	音楽
12:15 12:50	35	7校時	日常生活の指導				
12:50 13:20	30		昼休み				
13:20 14:05	45	8校時	特別活動	生活単元学習	生活単元学習	日常生活の指導 13:30下校	生活単元学習
14:05 14:15	10	9校時	日常生活の指導 14:15下校	日常生活の指導 14:15下校	日常生活の指導 14:15下校		日常生活の指導 14:15下校

中学部

重点目標

生徒一人一人の自己実現に向けて必要な技能や態度を育成するため、キャリア発達と内面の成長を支援する視点を持ち、生徒自ら主体的に課題に取り組もうとする意欲を専門性に基づいて育む教育活動を推進する。



作業学習

生徒一人一人の実態に応じて、進んで活動に取り組み、根気強く活動を続ける力を育みます。牛乳パックから作った和紙を使って、カレンダーや町内のイベントの参加賞を作り、地域の方に配布したり提供したりしています。



総合的な学習の時間

観光協会の方々と地域にあるフットパスコースを一緒に整備したり、近隣の中学校や町内在住の国際交流協力員との交流を行ったりします。その中で、経験を積み重ね、主体的・協働的に学習する態度を養います。

中学部第1・2・3学年（普通学級／重複学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登 校				
9:00 9:30	30	1校時	日常生活の指導				
9:30 9:50	20	2校時	体力づくり（自立活動）				
9:50 10:40	50	3校時	美術 (特別活動)	生活単元学習	自立活動	美 術	作業学習
10:40 11:30	50	4校時	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習	作業学習
11:30 12:20	50	5校時	生活単元学習	保健体育	作業学習	生活単元学習	保健体育
12:20 12:40	20	6校時	日常生活の指導				
12:40 12:50	10	7校時	特 別 活 動				
12:50 13:20	30		昼 休 み				
13:20 14:10	50	8校時	国 語	数 学	国 語	数 学	国 語
14:10 15:00	50	9校時	音 楽	日常生活の指導 14:20 下校	日常生活の指導 14:20 下校	音 楽	日常生活の指導 14:20 下校
15:00 15:10	10	10校時	日常生活の指導 15:10 下校				日常生活の指導 15:10 下校

高等部

重点目標

将来の社会生活、職業生活に向けて、生徒一人一人の特性やキャリア発達を専門的に評価し、生徒自身が安定した心情や考えを適切な方法で表現するための意欲と態度を育てる教育活動を積み重ねる。



総合的な探究の時間

地域の人材や施設、自然を有効活用し、体験的な学習をとおして、興味・関心を広げるとともに、主体的に活動に取り組む力を育てます。町内の福祉施設訪問や寿都高校との交流も行います。

作業学習

将来の社会生活を見据え、作業学習をとおして、達成感や充実感を味わいながら、自分から作業活動に取り組む力を育てます。リサイクル・軽作業、園芸・農業、除雪作業などに取り組んでいます。

高等部第1・2・3学年（普通学級）

時刻	時間	校時	月	火	水	木	金
9:00			登校				
9:00 9:20	20	1校時	日常生活の指導				
9:20 10:10	50	2校時	国語・数学				
10:10 10:40	30	3校時	体力づくり				
10:40 11:30	50	4校時	作業学習	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習
11:30 12:20	50	5校時					
12:20 12:40	20	6校時	日常生活の指導				
12:40 13:20	40		昼休み				
13:20 14:10	50	7校時	自立活動	保健体育	音楽	美術	保健体育
14:10 15:00	50	8校時	生活単元学習	日常生活の指導 14:20 下校	日常生活の指導 14:20 下校	特別活動	日常生活の指導 14:20 下校
15:00 15:10	10	9校時	日常生活の指導 15:10 下校				日常生活の指導 15:10 下校

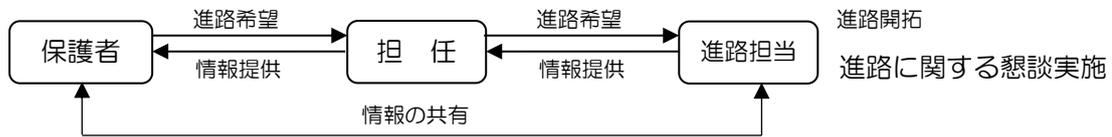
しりべし学園分校の進路について

1 進路の進め方

しりべし学園分校は、「自宅」から通学している児童生徒と施設から通学してくる「施設利用生」の児童生徒では進路の対応が異なります。

(1) 通学生の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して本人・保護者の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、担任・保護者と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任を通じて保護者に伝える。
- ④ 必要に応じて保護者・担任・進路担当者を含めた三者懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎等は保護者の責任で行う。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思の確認をもって決定とする。



(2) 施設利用生（措置）の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して保護者及び施設の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、しりべし学園・つくし園、保護者、担任と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任としりべし学園、つくし園に伝える。しりべし学園、つくし園は児童相談所を通して、保護者に情報を提供する。
- ④ 必要に応じて、しりべし学園・つくし園、保護者、担任、進路担当者を含めた懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎や諸手続き等は保護者の責任で行う。保護者が対応できない場合は、しりべし学園、つくし園が代行する。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思並びに施設や児童相談所の確認をもって決定とする。

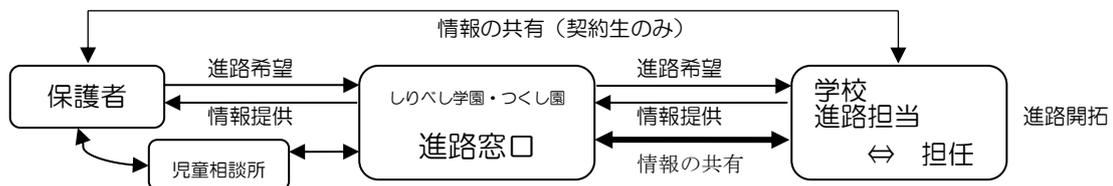
注意：しりべし学園、つくし園入所で「措置」利用の場合、児童相談所の了解が必要であり、保護者の希望だけでは進められないことがあるため、学校独自の判断はせずに、しりべし学園、つくし園を主として連携を図り進める必要がある。

(3) 施設利用生（契約生）の場合

- ① 年度始めに、進路希望調査を実施して保護者及びしりべし学園の希望を把握し、情報を校内で共有する。
- ② 進路担当者は、しりべし学園、保護者、担任と連携を図りながら進路開拓を行う。
- ③ 進路担当者が得た情報は、担任としりべし学園に伝える。しりべし学園は児童相談所を通して、保護者に情報を提供する。
- ※②③においては、学校と保護者が直接連絡を取り合う場合がある。
- ④ 必要に応じて、しりべし学園、保護者、担任、進路担当者を含めた懇談を行う。
- ⑤ 現場実習などの送迎や諸手続き等は保護者の責任で行う。保護者が対応できない場合は、しりべし学園が代行する。
- ⑥ ①～⑤を経て、本人及び保護者の意思並びに施設や児童相談所の確認をもって決定とする。

注意：しりべし学園の入所で「契約」利用の場合、児童相談所への経過説明等が必要であり、保護者の希望だけでは進められないことがある。従って進路に関しては、学校独自の判断はせずに、しりべし学園と連携して進める必要がある。ただ、情報交換や説明等で保護者と直接やり取りする方がスムーズと思われるケースもある。その際は、その内容を必ずしりべし学園へ伝える。

【(2)(3)の図式】



(4) 連携について

- ① しりべし学園、つくし園とは必要に応じて進路懇談を設定する。
- ② 各施設の進路に関する窓口として、しりべし学園／吉岡主任、つくし園／今村係長とする。また、重要な協議な場面においては、管理職の出席を求める。

2 高等部卒業支援

進路指導担当を中心に、関係機関、保護者等と連携し、次のように行います。

- ① 対象は本校高等部卒業生を原則とする。
- ② 高等部卒業生名簿を作成する。高等部卒業生名簿は毎年確認し、適宜更新する。
- ③ 学校において「卒業生の集い」を年1回実施する。
- ④ 卒業後3年間は、就労先及び生活の場に電話連絡を取り、必要に応じて支援する。

